

## インターネットにつなぐとき守ってほしい、大切なこと

文部科学省が推進する GIGA スクール構想の実現に向けて、佐賀市内全ての小中学校に1人1台端末の整備を行いました。子どもたちは、課題や目的に応じて、インターネット等を用い、様々な情報を主体的に収集・整理・分析することができます。インターネットを活用することによって様々な情報を得たり、世界中の人々とつながったりして学びを広げることができますが、それを悪用する人もいます。一人一人が意識して自分の身を守ることが大切です。以下の4点についてご家庭でお子様と一緒に読まれて、インターネットの使い方を確認しましょう。

### 1 パスワードは友達にもヒミツ

家の鍵と同じで、盗まれるとパソコンに侵入されて悪用されます。誕生日など簡単に分かるのもダメ。できるだけ長くて複雑なパスワードにしてひみつヒミツの場所に保管するか、先生や保護者と相談しましょう。

※佐賀市では、1人1台端末の使用について、学級や出席番号から推測できないようなパスワードを児童生徒に割り当て、管理しています。



### 2 メールのリンクやファイルはすぐには開かない

パソコンを乗っ取るウイルスが仕込まれていたり、パスワードを盗もうとしたりします。LINEなどでも同じように注意。不安な気持ちや「心の隙」を突いてきて、知っている人になりすますこともあるので、変だと思ったら誰かに確認しましょう。



### 3 パソコンなどは

#### 常に最新の状態で弱点をなくす

アプリやソフトが古いまま弱点が残っていると、そこを悪い人や最新のウイルスが狙ってきます。「後で」にせず、最新にアップデートしましょう。スマホも同じです。ただし、学校のパソコンなどは大人がちゃんと守っているので、自分でする必要はありません。



### 4 困ったら大人に相談しよう

相談することは悪いことではありません。ここで書いてあるポイントを守っていても、悪い人が狙ってくることもあります。困ったら、一人で悩んだりそのままにしたりせず、詳しい人や信頼できる大人にまずは相談しましょう。



## こんな様子が見られたら・・・要注意です！

オンライン学習の機会も増え、学びに、連絡に、趣味や娯楽に、タブレット等デジタル機器のある生活が当たり前になりつつあります。ゲームをしたりネット動画を見たりするなど、デジタル機器を使う時間は増える一方です。また、常に SNS のメッセージが気になり、何事にも集中できなくなる子もいます。

自分をコントロールできずデジタル機器が手放せなくなると、日常生活に支障をきたすだけでなく、健康面でもマイナスです。適切な使い方ができるよう、親子で利用のルールを話し合い、保護者が利用状況を把握するよう心がけましょう。学校行事や受験など「いざ！」というときに後悔しないよう、デジタル機器の利用を自制する力を育てましょう。

友人とのトークが連日深夜まで続き

遅刻や居眠りをするようになってしまった



メッセージアプリで友人とのやり取り（トーク）の大好きな A さん。話を終わらせるタイミングがわからず、夜遅くまでスマホを使う毎日でした。



朝起きるのがつらくなり、眠たくて授業にも集中できなくなりました。体調や成績にも影響が出ているのですが、友人とのトークはやめられません。

【総務省HP「インターネットトラブル事例集（2021年版）」より抜粋】

[https://www.soumu.go.jp/use\\_the\\_internet\\_wisely/trouble/](https://www.soumu.go.jp/use_the_internet_wisely/trouble/)



**作品募集** 取り組んでみませんか？（佐賀県内の小中高校生の個人またはグループで応募できます）

### 第14回 「ネットの安全・安心けいはつコンクール」

ネット社会に生きる子どもたちを対象に、情報モラルや情報セキュリティの大切さを伝え、「パソコンやタブレット・スマートフォン・ゲーム機などインターネットに接続できる機器の安全な使い方」を啓発するポスター、動画及び動画の感想文を募集します。

主催：ネットの安全・安心けいはつコンクール実行委員会

募集〆切：2022年1月14日（金）必着

応募資格：小学生・中学生・高校生（おとなとの共同制作の部もあります）

【詳しくはこちら <https://www.it-saga.jp/>】

または「ITサポートさが」で検索）

電話：0952-36-5900（ITサポートさが内）



コンクールページ



コンクールLINE